

薬連ハイライト

都道府県薬剤師連盟会長会が開催される

令和5年6月29日(木)、令和5年度第1回都道府県薬剤師連盟会長会がウェブにて開催された。丹下常任総務の司会で開会され、冒頭の挨拶では、山本会長より規制改革要望や物価高騰・賃金上昇への対応などへの感謝が述べられ、次期参議院議員選挙への対応の重要性も示された。続いて、本田あきこ参議院議員がご挨拶され、国の予算が限られている中で、薬剤師の立場を理解していただくためには、裏付けをもった発言が重要であると述べられた。次に神谷まさゆき参議院議員からご挨拶される予定であったが、公務のため祝辞の代読が行われた。その後、山本会長が座長となり議事が進行された。

川田幹事長より、第20回統一地方選挙、4/23衆参両院補欠選挙について、ロビー活動としては、規制改革、少子化対策の財源確保、医療・介護における物価高騰・賃金上昇への対応を求める合同声明について、自由民主党薬剤師問題議員懇談会について報告があった。10分間の休憩の後、石井副会長からは、最近の政治課題として、骨太の方針2023、規制改革実施計画、令和6年度予算・税制改正要望に

ついて報告がなされた。その後、浜田副会長から広報活動について、川田幹事長から、薬剤師首長・地方議員意見交換会開催、石井副会長からブロック協議会開催、「若手薬剤師フォーラム」について報告がなされた。次に、大澤副会長から「本田あきこ物語」の活用について説明があり、橋本常任総務から「本田あきこ物語」が紹介された。

続いて、本田あきこ中央後援会活動報告として、川田幹事長より支援組織体制について、浜田副会長からは全国訪問について、大澤副会長からは名簿収集について、浜田副会長から広報について、中原副幹事長からは薬学生、薬科大学同窓会について、石井副会長からは活動報告(1/25~6/26)がなされた。

最後に川田幹事長より得票目標数について説明があり出席者全員で今後の方針を確認した後、大原副幹事長の閉会の挨拶で本会議は終了となった。



オレンジ日記

医薬品の安定供給問題

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



2021年以降、医薬品企業への行政処分が続き、各社の出荷量が減少したため、他社への発注が増加しました。注文を受けた各社には行政処分を受けた企業もつ国内シェアを補うだけの「生産上の余力」がなく、その「しわ寄せ」で各社他品目が限定出荷になっています。

度重なる薬価改定による採算性の悪化に加え、物価高騰や原材料調達難の難しさ等が複合的に重なり、そして解熱鎮痛薬や鎮咳薬等の場合は、新型コロナウイルス感染時の発熱や咳などの諸症状への需要が増加したことも長引く供給不足の背景にあります。

昨年9月から13回の議論を重ねた厚生労働省の「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」報告書では、国による使用促進策の下でジェネリック医薬品の市場が拡大する中、産業構造的課題として、小規模で生産能力が限定的な企業が少量多品目生産を行っている点が指摘され、また、安定供給のための薬価制度上の対策についても合意形成されました。

今後、中医協では来年度の薬価改定時の対応を見据えた検討が進み、ジェネリック産業の「在るべき姿」の議論は新たな「後発医薬品の安定供給等の実現に向けた産業構造のあり方に関する検討会」で行われます。

長引く供給不足のため、医療を担う現場の先生方、医薬品卸の皆様、そして医薬品を必要とする国民の皆様にはご負担とご心配をおかけしております。医薬品の供給が滞ることなく、供給不安を二度と生じさせないため、年末の結論に向けて私も更に頑張っております。

政幸だより

病院薬剤師確保に係る要望書

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



令和5年7月11日、日本病院団体協議会と日本病院薬剤師会は病院薬剤師確保に係る要望書を加藤勝信厚生労働大臣に提出しました。令和3年6月30日に公表された「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」では、薬剤師の従事先には業態の偏在や地域偏在があり、特に病院薬剤師の確保が喫緊の課題であることが指摘されています。また、「第8次医療計画等に関する検討会」の意見のとりまとめにおいても、「薬剤師の資質向上の観点に加え、薬剤師確保の観点から、病院薬剤師及び薬局薬剤師それぞれの役割を明確にし、薬剤師の就労状況の把握及び地域の実情に応じた薬剤師の確保策を講じること」等が記載されています。病院薬剤師の確保が非常に困難な状況を踏まえ、国レベルでの迅速な対応を求めるため、要望書が提出されました。要望書には「診療報酬上の要望」「地域医療介護総合確保基金等の優先的な活用」「薬学部の卒前及び卒後教育の充実」の3項目が記載されています。診療報酬上の要望の中にある、退院時薬剤情報連携加算の算定対象の拡大や外来業務に関する評価が行われれば、薬業連携のさらなる推進が期待できます。令和5年4月25日の厚生労働委員会において、過去の中央社会保険医療協議会総会で病院薬剤師の給与問題で議論があったことに触れ、病院薬剤師不足は喫緊の課題になっており、他の医療従事者とともに処遇改善を進めるよう発言しました。厚生労働委員会における病院薬剤師関連の質問動画を以下のYouTube URLにアップしておりますので、ご視聴いただければ幸いです。

【20230425神谷まさゆき厚生労働委員会006】
https://youtu.be/PN9_3GkkJzk

